

講義名	対)19- 業界研究 (証券業) /15- 経済学特講 (証券経済論)			授業形態	
担当教員	森澤 龍也	開講期・曜日・時限	前期 水曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

**主題と概要**

野村証券株式会社の提供により「資本市場の役割と証券投資」を主題に開講する。現代の証券市場とそこで活動する証券会社、そして資産運用ビジネスについて、最も基礎的な理論と最新の知識を学ぶことにより、証券投資を身近なものとして理解することを目標とする。

**到達目標**

証券会社や資産運用について、実務経験に基づいた最新の知識を学ぶことで、金融リテラシーを身につけることができるようになる。

**提出課題**

毎回の講義に際して、講義中課題 (レポート: 全15回) を提出する必要がある。詳細は第一回開講時に説明する。

**課題 (レポートや小テスト等) に対するフィードバックの方法**

オムニバス講義にて実施する関係上、当日の時間が許す場合、簡単な講評を述べる予定である。

**評価の基準**

最終評価は講義参加・提出課題によって行う。  
 ・講義中課題: 100%

**履修にあたっての注意・助言他**

証券市場は、資本主義経済の根幹を成す部分である。証券市場についての知識を欠いてビジネス一般を語ることはできない。確定拠出年金制度の導入にみられるように、証券市場とそこにおける資産運用の理解は経理自身の生涯ファイナンスにおいてもきわめて重要な手・マとなっている。  
 この講義は、第一線のビジネスマンによるものであり、単なる知識の修得以上に読者の関心をかきたてるものと信じているので、熱心に聴いて欲しい。

**教科書**

・ 特定の教科書は使用しない。

**参考文献**

・ 参考文献については講義中に適時、紹介する。

**その他**

< これまでに紹介された参考文献の例 >  
 ・ 証券投資の基礎。野村証券投資情報部編 丸善株式会社  
 ・ 日本の資本市場。氏家純一編 東洋経済新聞社

**授業計画**

- 1 ガイダンス - 経済情報始め
- 2 金融の仕組み
- 3 株式入門
- 4 現代金融の諸問題
- 5 債券入門
- 6 外国為替のいるは
- 7 グローバル化する世界と資本市場の果たす役割
- 8 リスク&リターンとポートフォリオの考え方
- 9 投資信託入門
- 10 投資家心理を学ぶ
- 11 ライフプランと資産形成
- 12 公的年金制度について
- 13 確定拠出年金について
- 14 ポートフォリオの作成
- 15 マネープランの作成  
 上記の予定は担当者論成との関係で変更することがある。

**授業形態 (アクティブ・ラーニング)**

ア: PBL (課題解決型学習)	イ: 反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ: ディスカッション、ディベート	エ: グループワーク
オ: プレゼンテーション	カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他 (A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

**準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間**

・ 予習 2時間/回 x 15回: 参考書や情報検索などによって自らの講義範囲に関連する情報を収集し、要点をまとめておく。  
 ・ 復習 2時間/回 x 15回: 配布資料の熟読、講義ノートの整理に取り組み、自らの内容に関する理解を深める。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

各学部CPにおける「関連する業界・企業で活躍している外部講師による科目」に該当する。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

毎回、パワーポイントによる投影方式で講義を行う。レスポンスを使用する予定である。

**実務経験の有無及び活用**

実務経験あり (野村証券): 実務経験に基づいた証券経済を学ぶことができる。

**備考**

対面式講義として開講する予定である。(2022年2月15日現在)  
 ただし、新型コロナウイルス感染症の状況により上記の開講方式については変更の可能性がある。その際はRyuka Portalの掲示にて連絡するので、講義連絡を常に確認してもらいたい。また、開講方式変更の際のシラバスについては修正される可能性がある。